

令和7年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

国 語

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	国語 002-72・002-82・002-92
15 三省堂	国語 015-72・015-82・015-92
17 教出	国語 017-72・017-82・017-92
38 光村	国語 038-72・038-82・038-92

国 語

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 調査研究の観点

- (1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) [知識及び技能] 及び [思考力、判断力、表現力等] の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(2)(4)
 - ① [知識及び技能] の3事項教材数
 - ② [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数
 - ③ 読書指導について（紹介されている図書の冊数）
 - ④ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数
- (2) 生徒の実態等に応じる適切な配慮について…………… 観点(2)(4)
 - ① サイズ・ページ構成
 - ② 表記等
 - ③ 資料・付録
- (3) 学習過程について…………… 観点(3)
 - ① 学習の見通し
 - ② 学習活動の取組のポイント
 - ③ 学習の振り返り
- (4) 語彙指導について…………… 観点(4)
- (5) 情報の扱い方について…………… 観点(3)

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	6	4	3	3	1	1	2	20
2 年	6	3	3	2	1	0	2	17
3 年	5	2	2	2	1	1	2	15
合 計	17	9	8	7	3	2	6	52

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	2	1	2	1	2	4	6	18
2 年	2	1	2	1	2	5	6	19
3 年	2	1	1	1	2	4	7	18
合 計	6	3	5	3	6	13	19	55

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	37	20	37	17	111
2 年	33	22	31	20	106
3 年	30	28	31	20	109
合 計	100	70	99	57	326

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

第1学年 65か所 第2学年 67か所 第3学年 59か所

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	244	62	306
2 年	244	66	310
3 年	230	92	322

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 第1学年では36字×17行、第2、3学年では40字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 以下の資料が主に示されている。
 - ・学年に応じた発展的な読み物教材（古典・文学史資料を含む）
 - ・「原稿用紙の使い方や推敲の観点」
 - ・「要約の仕方」、「著作権と引用」（1年）、「手紙の書き方」、「話し合いの方法」（2年）、「手紙の書き方」（3年）等
 - ・「思考のヒント」
 - ・「新出漢字一覧」「常用漢字表」等漢字一覧表
 - ・デジタルコンテンツ一覧
 - ・「言葉の力」一覧

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「領域別教材一覧」が示されている。
 - ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと・古典」「学びを支える言葉の力」「言葉」「未来への扉」の6領域で整理されている。
- 巻頭にある「未来への扉」で未来を考えるための9つのテーマが示されている。
- A、B領域の教材の冒頭、C領域の教材の後の「てびき」にそれぞれ「目標」が示されている。
- A、B領域の教材では、2段組上段に学習過程が示され、C領域の教材の後の「てびき」に学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域で、「言葉の力」として身に付ける資質・能力が示され、「学びを支える言葉の力」では、各領域の学習に関わる考え方、読み方や情報整理の仕方が示されている。
- A、B領域では、学習活動に取り組むためのポイントが文章、イラスト、図等を用いて示されている。
- C領域では「てびき」で、どのように学習を進めていくかが示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「振り返る」では、身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。
- 巻末の「言葉の力」一覧として、3年間の学習内容が示されている。

4 語彙指導について

- C領域の「てびき」の「広がる言葉」では、教材中の語句や表現に関する課題が示されている。
- 巻頭の「教材一覧」の表の中に語句の量を増やす項目が設定されている。
- デジタルコンテンツの「言葉を広げよう」では、項目ごとにさまざまな言葉が紹介されている。

5 情報の扱い方について

- 「学びを支える言葉の力」の「情報と論理の学び」では、情報と情報との関係や捉え方、情報の信頼性について取り上げられている。
- デジタルコンテンツの中に「情報の調べ方」や「情報と論理の学び一覧」など情報に関する資料が用意されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項		(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	5	3	2	2	1	1	2	16
2 年	6	2	2	2	1	0	2	15
3 年	4	1	2	2	1	1	2	13
合 計	15	6	6	6	3	2	6	44

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	2	1	2	2	2	4	7	20
2 年	2	1	2	2	2	5	6	20
3 年	2	2	2	1	1	5	6	19
合 計	6	4	6	5	5	14	19	59

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	30	13	46	29	118
2 年	29	16	55	26	126
3 年	23	23	59	25	130
合 計	82	52	160	80	374

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

第1学年 84 か所 第2学年 83 か所 第3学年 77 か所

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5 判		合 計
	本 編	資料・付録	
1 年	242	123	365
2 年	254	111	365
3 年	242	123	365

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 第1学年では38字×17行、第2学年では40字×20行、3学年では43字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 以下の資料が主に示されている。
 - ・学年に応じた発展的な読書教材（古典・文学史資料含む）
 - ・「著作権と引用」、「メモを活用する」、「質問の仕方」、「話し合いの形式を選ぶ」、「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」、「読書感想文の書き方」等
 - ・「学習用語辞典」
 - ・「語彙の広がり」
 - ・「〇年生で学ぶ漢字字典」「常用漢字表」等漢字一覧表
 - ・二次元コード参照先コンテンツ一覧
 - ・「読み方を学ぼう」一覧

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「領域別教材一覧」が示されている。
 - ・各領域で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「言語活動」「教材名」の4項目で整理されている。
- 各教材の冒頭で「目標」が示されている。
- A、B領域の教材では、「学習の流れ」として学習過程が示されている。
- C領域の教材の末尾に「学びの道しるべ」として目標と学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域で、巻頭に示された「思考の方法」（一覧）の中から、課題と関連付けられた考えを整理・深化する方法が示されている。
- A、B領域では、学習活動に取り組むためのポイントが文章、イラスト、図等を用いて示されている。
- C領域では、教材と関連した「読み方を学ぼう」が教材の後に示され、「学びを広げる」で発展的な学習課題が示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「学びを振り返る」では、身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。
- C領域では、「学びを振り返る」に「振り返りのキーワード」が示されている。

4 語彙指導について

- C領域では、教材に出てくる語句の類義語や対義語が記載されている。
- 教材末尾の「語彙を豊かに」では、教材中の語句や表現に関するテーマが設定され、語句が紹介されている。
- 巻末資料にテーマごとに言葉を分類した「語彙の広がり」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 全学年に「思考の方法」という単元を位置付け、情報の関係の捉え方を示し、チャートが紹介されている。
- 領域別教材一覧で、「情報の扱い方」の観点を設け、各学年の指導内容が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	5	4	4	2	1	1	2	19
2 年	6	4	3	2	1	0	2	18
3 年	6	4	3	2	1	0	2	18
合 計	17	12	9	6	3	1	6	55

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	3	1	3	1	1	4	6	19
2 年	3	1	2	2	2	5	6	21
3 年	3	2	3	1	0	4	9	22
合 計	9	4	8	4	3	13	21	62

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	47	38	29	2	116
2 年	52	33	19	5	109
3 年	40	23	18	1	82
合 計	141	92	66	8	307

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

第1学年 48か所 第2学年 50か所 第3学年 46か所

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5判		合 計
	本 編	資料・付録	
1 年	264	91	355
2 年	306	65	371
3 年	296	59	355

(2) 表記等

- 書体や色使い、レイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 第1学年では37字×16行、第2、3学年では42字×18行になっている。

(3) 資料・付録

- 以下の資料が主に示されている。
 - ・学年に応じた発展的な読書教材（古典・文学史資料含む）
 - ・「アイデアの出し方」、「原稿用紙の使い方と推敲」（1年）、「レポートの書き方」、「著作権について知ろう」等（2年）、「模擬面接をしてみよう」、「アイデアの出し方」（3年）
 - ・「学びナビ」一覧
 - ・「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」
 - ・「話すこと・書くことテーマ例集」
 - ・「学習に必要な用語（索引）」
 - ・「〇年生で学習した漢字」「常用漢字表」等漢字一覧表

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「言葉の地図」が示されている。
 - ・各領域で、「教材」「学びナビ」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「言語活動例」の5項目で整理されている。
- 各教材の冒頭で「目標」が示されている。
- A、B領域では、学習過程と中心となる活動が示され、目標に関連する活動が色付けされている。
- C領域では、末尾に「みちしるべ」として、学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域の教材の冒頭に「学びナビ」として、「何を」「どのように」学ぶのかが示され、「ヒント」では、「学びナビ」を生かして学習するためのポイントが示されている。
- A、B領域では、学習活動に取り組むためのポイントが文章、イラスト、図等を用いて示されている。
- C領域では、「学びナビ」の下段に、基本となる読み方や教材本文に関する読み方等が示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「振り返り」で目標に対応した振り返りの観点が示されている。
- A、B領域では、「学びを生かす」で学習したことを日常生活や他教科で活用する場面例が示されている。

4 語彙指導について

- C領域の「みちしるべ」の「言葉・情報」では、教材中の語句や表現に関する課題が示されている。
- 巻末資料に、「理解に役立つ言葉」と「表現に役立つ言葉」が示され、語句や表現がテーマごとに分類されている。
- 巻末に、学習用語を検索できるように、「学習に必要な用語（検索）」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 巻頭に「言葉の地図」として、各教材で情報・語彙・技法のどの知識及び技能を扱うかが示されている。
- SDGsが国語の視点で教材化され、総合的な教材として示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項		(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	7	3	5	2	1	1	3	22
2 年	7	3	5	3	1	0	3	22
3 年	5	3	4	4	1	1	3	21
合 計	19	9	14	9	3	2	9	65

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	5	1	2	1	2	5	8	24
2 年	3	1	2	2	2	4	8	22
3 年	4	1	3	1	1	5	9	24
合 計	12	3	7	4	5	14	25	70

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	57	58	8	3	126
2 年	56	53	4	2	115
3 年	77	37	18	2	134
合 計	190	148	30	7	375

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

第1学年 91か所 第2学年 80か所 第3学年 65か所

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	274	70	344
2 年	274	70	344
3 年	254	86	340

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 第1学年では36字×17行、第2、3学年では41字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 以下の資料が主に示されている。
 - ・学年に応じた発展的な読書教材（古典・文学史資料含む）
 - ・各領域の「学びのカギ」一覧、「思考のレッスン」一覧、「情報整理のレッスン」一覧
 - ・「発想を広げる——表現テーマ例集」
 - ・「読書感想文の書き方」、「文章の推敲・原稿用紙の使い方」等（1年）、「インタビューをする」、「インターネットの活用」等（2年）、「グラフの見方／引用・出典」、「話し合いの方法」（3年）
 - ・「〇年で学習した漢字」「常用漢字表」等漢字一覧表
 - ・学年に応じた「学習のための用語一覧」
 - ・ICT活用のヒント

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「学習の見通しをもとう」が示されている。
 - ・各領域で、「教材」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関連」の4項目で整理されている。
- 各教材の冒頭で「目標」が示されている。
- 各教材で、学習過程が示され、目標に関連する活動が色分けされている。
- C領域では、教材の冒頭で学習活動が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域で示されている「学びのカギ」で、その教材で学習する資質・能力や学習活動に取り組むためのポイントが文章、イラスト、図等を用いて示されている。
- A、B領域の「言の葉ポケット」では、場面に応じた話型や文型が示されている。
- C領域では、学習用語が「学習で用いる言葉」として示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「振り返る」の「つなぐ」で身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。
- A、B領域では、「生かす」で学習したことを日常生活や他教科で活用する場面例が示されている。

4 語彙指導について

- C領域の「学びのカギ」の「言の葉ポケット」では、教材中の語句や表現に関する課題が示されている。
- テーマごとに言葉を分類した「語彙ブック」が全学年に示されている。
- 巻末に、学習用語を検索できるように、「学習のための用語一覧」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 教科書の巻頭に、各学年で学習する「情報の扱い方」に関する思考法（考え方）が「思考の地図」として示されている。
- 各学年に「情報の扱い方」に関する小単元として、「思考のレッスン」では「情報と情報との関係」、「情報整理のレッスン」では「情報の整理」がそれぞれ位置付けられている。

